

PHILIPS

イヤホン

2000 Series

TAT2205



ユーザーマニュアル

コンテンツ

1	重要な安全に関する説明	2
	聴力に関する安全性	2
	一般情報	2

2	お使いのBluetoothワイヤレスイヤークーピース	3
	同梱品	3
	その他のデバイス	3
	お使いのBluetoothワイヤレスイヤークーピースの概要	4

3	はじめに	5
	バッテリーの充電	5
	充電ケースのバッテリーLEDインジケータ	5
	イヤークーピースを初めてBluetoothデバイスとペアリングする	6
	単一のイヤークーピースのペアリング(モノモード)	7
	イヤークーピースを別のBluetoothデバイスでペアリングする	7

4	イヤークーピースの使用	7
	イヤークーピースをお使いのBluetoothデバイスに接続する	7
	電源オン/オフ	8
	通話と音楽の管理	8
	LEDインジケータのステータス	8
	イヤークーピースステータスのバッテリーLEDインジケータ	9
	装着方法	9

5	イヤークーピースをファクトリーリセットする	9
---	-----------------------	---

6	テクニカルデータ	10
---	----------	----

7	通知	11
	適合宣言	11
	古い製品とバッテリーの廃棄	11
	EMFのコンプライアンス	11
	環境情報	12
	コンプライアンス通知	12

8	商標	13
---	----	----

9	よくある質問	14
---	--------	----

1 重要な安全に関する説明

聴力に関する安全性



⚡ 危険性

- ・聴覚の損傷を避けるために、大音量でヘッドフォンを使用する時間を制限し、音量を安全なレベルに設定してください。音量が大きいくほど、安全な聴取時間は短くなります。

イヤークリップを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- ・適切なボリュームで、適切な時間だけ試聴してください。
- ・耳の適正を考え音量を上げ続けないように注意してください。
- ・周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- ・危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- ・イヤホンやヘッドフォンの音圧が高いと難聴になることがあります。
- ・運転中に両耳をふさがれたヘッドフォンを使用することは推奨されておらず、一部の地域では運転中に違法となる場合があります。
- ・安全のため、交通機関利用時や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

一般情報

損傷や不具合を避けるために:

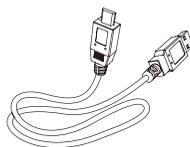
! 注意

- ・イヤークリップを高温に晒さないでください
- ・イヤークリップを落とさないでください
- ・イヤークリップに水滴や水がかからないようにしてください。
- ・ヘッドホンを水の中に入れてください。
- ・アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- ・清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、水または薄めた中性洗剤を少量加えて湿らせ、製品を清掃してください。
- ・組電池は、日光、火災等の高温にさらされないようにしてください。
- ・バッテリーを不適切に代用すると爆発の危険性があります。同じまたは同等のタイプでのみ置換してください。

操作および保管時の温度について

- ・ 使用時： 0℃～40℃
充電時： 5℃～35℃
保管時： -10℃～50℃
- ・ バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。

2 お使いの Bluetoothワイヤレスイヤヤーピース



USB-C充電ケーブル(充電のみ)



クイック スタート ガイド

ご購入ありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ！フィリップスワイヤレスイヤヤーピースは、次のようにご利用いただけます。

- ・ 便利なワイヤレスでのハンズフリー通話を楽しむことができます
- ・ ワイヤレス音楽を楽しみながら操作できます
- ・ 通話と電話を切り替えられます

その他のデバイス

Bluetoothに対応し、イヤヤーピース(10ページの「テクニカルデータ」を参照してください)と互換性のある携帯電話またはデバイス(ノートパソコン、PDA、Bluetoothアダプタ、MP3プレーヤーなど)。

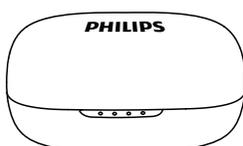
同梱品



トゥルーワイヤレスインナーイヤヤー型ヘッドフォン
Philips TAT2205

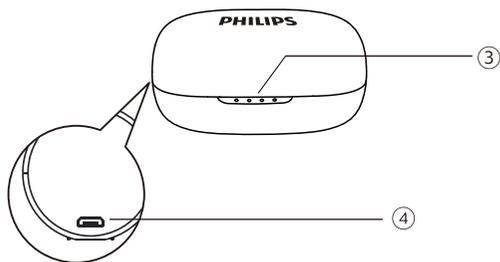
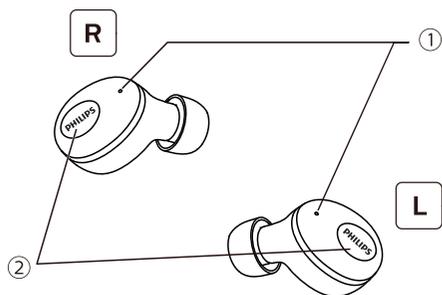


取り替え可能ゴム製イヤヤーキャップ x 2ペア



充電ケース

お使いのBluetoothワイヤレスイヤホンの概要



- ① マイクフォンおよびLEDインジケータ (イヤホン)
- ② 多機能ボタン
- ③ LEDインジケータ(充電ケース)
- ④ USB充電スロット (5V0.5A対応)

3 はじめに

バッテリーの充電

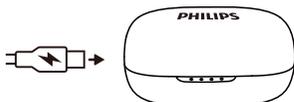
≡ 注釈

- 初めてイヤピースを使用する前に、イヤピースを充電ケースに入れてバッテリーを2時間充電し、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、付属品USB充電ケーブルのみを使用してください。
- イヤピースを充電するために接続すると電源がオフになるため、充電する前に通話を終了してください。

充電ケース

付属のUSBケーブルの一端を充電ケースに、もう一端を市販のACアダプター（5V0.5A）に接続します。

- ↳ 充電ケースが充電を開始します。
- 充電プロセスは、前面パネルの青色LEDライトによって確認されます。
- 充電ケースが完全に充電されると、青いライトが点灯します。



* ヒント

- 充電ケースはイヤピース充電用のポータブルバックアップバッテリーとして利用することができます。充電ケースが完全に充電されると、イヤピースの3回のフル充電サイクルに対応します。

充電ケースのバッテリーLEDインジケータ

イヤピースの充電中、青のLEDが点灯します。

- 4番目の青のLEDライトが1秒ごとに点滅し、他のライトは点灯している場合、75-100%充電されています
- 1番目と2番目の青のLEDライトが点灯していて、3番目と4番目のライトが連続して1秒ごとに点滅している場合、50-75%充電されています

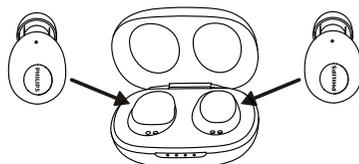
- 1番目の青のLEDライトが点灯していて、2番目、3番目、4番目のLEDライトが連続して、1秒ごとに点滅している場合、25-50%充電されています
- 4つの青のLEDライトが1秒ごとに点滅している場合、0~25%充電されています

イヤピース

イヤピースを充電ケースに入れてください。

↳ イヤピースが充電を開始します。

- 充電プロセスは、イヤピースの白色LEDライトで確認することができます。
- イヤピースが完全に充電されると、白いライトが消えます。

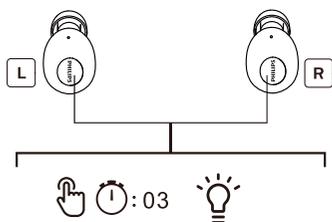


* ヒント

- 通常、フル充電には2時間かかります(イヤピースまたは充電ケース)。

イヤークリップを初めて Bluetoothデバイスとペアリングする

- 1 イヤークリップが完全に充電されていることを確認します。
- 2 自動電源オン：充電カプセルを開くと、取り出されたイヤークリップと青のLEDインジケータが3回点滅し、「Power on」という音声案内が流れます。手動電源オン：両方のイヤークリップで、多機能ボタンを約3秒間長押しします。



- 右のイヤホンのLEDは白と青が交互に点滅し、左のイヤホンLEDは10秒間オフになり、青のLEDが1回点滅します。
- これで両方のイヤホンの電源がオンになり、ペアリングが完了しました。
- イヤークリップはペアリングモードになり、Bluetoothデバイス(例えば携帯電話)とペアリングする準備ができました。



- 3 BluetoothデバイスでBluetooth機能をオンにします。
- 4 イヤークリップをお使いのBluetoothデバイスでペアリングします。お使いのBluetoothデバイスのユーザーマニュアルをご参照ください。

→ イヤークリップでは、「Connected」という音声の流れ、両方のイヤークリップのLEDがオフになり、10秒ごとに1回点滅します。デバイスを使用して音楽を再生したり通話を行うことができます。

注釈

- 電源を入れた後、イヤークリップが以前に接続されたBluetoothデバイスを検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

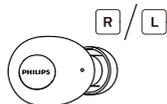
次の例は、イヤークリップをBluetoothデバイスとペアリングする方法を示しています。

- 1 お使いのBluetoothデバイスのBluetoothデバイス機能をオンにして、Philips TAT2205 を選びます。
- 2 イヤークリップのパスワードの入力を求められたら、「0000」（ゼロ4つ）を入力します。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetoothデバイスの場合、パスワードを入力する必要はありません。



単一のイヤーピースのペアリング (モノモード)

- 1 充電ケースから右のイヤーピース(「マスターデバイス」)を取り出すと、そのイヤーピースの電源が自動的に入ります。右側のイヤーピースから「Power on」という音声が再生されます。



- 2 お使いのデバイスでBluetooth機能をオンにして、「Philips TAT2205」を検索して、タップして接続します。(6ページを参照)



Philips TAT2205/

- 3 ペアリングが成功すると、「Connected」という音声が聞こえ、インジケータライトが消灯します。

イヤーピースを別のBluetoothデバイスでペアリングする

イヤーピースとペアリングする別のBluetoothデバイスがある場合は、以前にペアリングまたは接続された他のデバイスのBluetooth機能がオフになっていることを確認します。次に、「イヤーピースを初めてBluetoothデバイスとペアリングする」の手順に従います。

注釈

- イヤーピースは1つのデバイスをメモリに格納します。2台以上のデバイスをペアリングしようとすると、最初にペアリングされたデバイスが新しいデバイスに置き換わります。

4 イヤーピースの使用

イヤーピースをお使いのBluetoothデバイスに接続する

- 1 BluetoothデバイスでBluetooth機能をオンにします。
- 2 両方のイヤーピースを充電ケースから取り出すと、イヤーピースの電源が入り、自動的に再接続されます。
 - ↳ デバイスが接続されていない場合、イヤーピースは5秒後に自動的にオフになります。
 - ↳ これで両方のイヤホンの電源がオンになり、自動的に互いがペアリングされます。
 - ↳ イヤーピースは最後に接続されたBluetoothデバイスを検索し、自動的に再接続を行います。最後に接続したデバイスが使用できない場合、イヤーピースは最後から2番目に接続したデバイスを検索して再接続します。

※ ヒント

- イヤーピースは一度に2つ以上のデバイスに接続することはできません。ペアリングされたBluetoothデバイスが2つある場合は、接続するデバイスのBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤーピースをオンにした後でお使いのBluetoothデバイスのBluetooth機能をオンにする場合は、デバイスのBluetoothメニューに移動して、イヤーピースをデバイスに手動で接続する必要があります。

≡ 注釈

- イヤーピースが5分以内にBluetoothデバイスと接続できない場合は、バッテリーを節約するために自動的にオフになります。
- 一部のBluetoothデバイスでは、接続が自動的に行われない場合があります。この場合、お使いのデバイスのBluetoothメニューに移動し、イヤーピースをBluetoothデバイスに手動で接続する必要があります。

電源オン/オフ

作業	多機能ボタン	操作
イヤークラスの電源をオンにします。	右および左のイヤークラス	両方のイヤークラスを充電ケースから取り出し、3秒間長押しします
イヤークラスの電源をオフにします		両方のイヤークラスを充電ケースに入れます。
	右/左のイヤークラス	5秒間長押しします。

通話と音楽の管理

音楽のコントロール

作業	多機能ボタン	操作
音楽の再生/一時停止	右/左のイヤークラス	一回押す
前にスキップする	左のイヤークラス	2秒間長押しします。
後ろにスキップする	右のイヤークラス	2秒間長押しします

通話コントロール

作業	多機能ボタン	操作
電話をかける/切る	右/左のイヤークラス	一回押す
着呼拒否	右/左のイヤークラス	1秒間長押しします

音声コントロール

作業	多機能ボタン	操作
Siri/Google	右/左のイヤークラス	二度押します

LEDインジケータのステータス

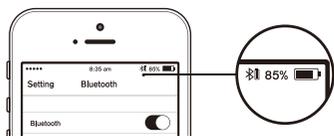
イヤークラスのステータス LED

イヤークラスはBluetoothデバイスに接続されています。	白のLEDが消え、青のライトが10秒ごとに1度点滅します。
イヤークラスがオンになっています。	白LEDが3回点滅します。
イヤークラスはペアリングモードです。	青と白のLEDが点滅します。
イヤークラスがオンになっていますが、Bluetoothデバイスに接続されていません。	青と白のLEDが点滅します。接続できない場合、イヤークラスは5分以内に自ら電源をオフにします。

低バッテリーレベル(イヤークリップ)	イヤークリップで「Battery low」という音声が再生されます。白色LEDが2回点滅します。
低バッテリーレベル(充電ケース)	最初の青色LEDのみオンになります
バッテリーが完全に充電されています(イヤークリップ)	イヤークリップの白色LEDがオフになります
バッテリーが完全に充電されています(充電ケース)	充電ケースの4つの青色LEDがオンになります

イヤークリップステータスのバッテリーLEDインジケータ

イヤークリップに接続すると、Bluetoothデバイス上にバッテリーインジケータが表示されます。

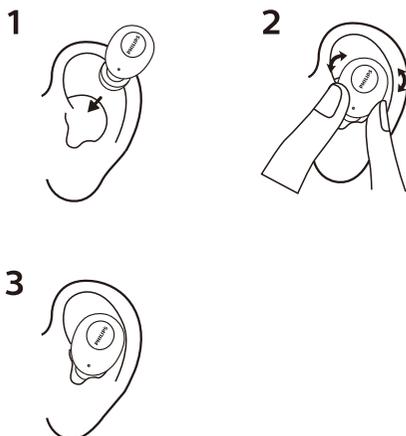


5 イヤークリップをファクトリリセットする

ペアリングまたは接続の問題が発生した場合は、次の手順に従ってイヤークリップを出荷時の状態にリセットできます。

- 1 お使いのBluetoothデバイスで、Bluetoothメニューに移動して、Philips TAT2205をデバイスリストから削除します。
- 2 BluetoothデバイスのBluetooth機能をオフにします。
- 3 両方のイヤークリップを充電ケースに戻します。両方のイヤークリップが白く点滅します。両方のイヤークリップの機能ボタンを4秒間長押しすると、イヤークリップの青いLEDが3回点滅します。
- 4 イヤークリップをBluetoothデバイスとペアリングするには、BluetoothデバイスのBluetooth機能をオンにし、Philips TAT2205を選択します

装着方法



6 テクニカルデータ

イヤークーピー

- 音楽視聴時間：4時間(追加の充電ケース付き8時間)
- 通話時間：3時間
- スタンバイ時間：50時間
- 充電時間：2時間
- 再充電可能リチウムイオンバッテリー：40mAh
- Bluetoothバージョン：5.1
- 互換性のある Bluetooth プロファイル：
 - HSP (Hands-Free Profile-HFP)
 - A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
- 対応している音声コーデック：SBC
- 再生周波数帯域：20Hz ~ 20,000Hz
- 動作範囲：10メートル(33フィート)

充電ケース

- 充電時間：2時間
- 再充電可能リチウムイオンバッテリー：320mAh
- 対応USB充電器：DC5V 0.5A

注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 通知

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limitedは、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言は www.p4c.philips.com からご確認くださいます。

EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関して適用されるすべての規格および規制に準拠しています。

古い製品とバッテリーの廃棄



製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



この記号の意図として、この製品は、欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式電池が含まれており、これは一般家庭廃棄物として廃棄することはできません。この充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターにお持ち込みいただくことを強くお勧めします。電気・電子製品と充電式電池の地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式電池を適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防止します。

環境情報

不要な梱包はすべてなくしました。ダンボール（箱）、発泡ポリスチレン（緩衝材）、ポリエチレン（袋、保護発泡シート）の3つの素材に分けやすいように工夫しています。お使いのシステムは、専門業者が分解すればリサイクル・再利用できる素材で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンス通知

FCC 規則、パート 15 に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、受信した干渉（望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）をすべて受け入れる必要があります。

FCC法規

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタルデバイスの限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの適切な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は（装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます）、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えます。
- 装置と受信機の距離を離します。

- 装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください。

FCCの放射線被曝に関する声明：

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意：法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

カナダ：

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSS に準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉（このデバイスが望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）をすべて受け入れる必要があります。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ICの放射線被曝に関する記述：

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、Top Victory Investment Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

Siri

Siri は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Google

Google およびロゴは Google Inc. の登録商標です。

9 よくある 質問

使用しているBluetoothイヤークーピースの電源がオンになりません。

バッテリーレベルが低いです。イヤークーピースを充電してください。

使用しているBluetoothデバイスとBluetoothイヤークーピースをペアリングできません。

Bluetoothがオフになっています。お使いのBluetoothデバイスでBluetooth機能をオンにして、イヤークーピースをオンにする前にBluetoothデバイスをオンにします。

ペアリングができません。

- 両方のイヤークーピースを充電ケースに入れます。
- 以前に接続したBluetoothデバイスのBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- お使いのBluetoothデバイスのBluetoothリストから「Philips TAT2205」を削除します。
- イヤークーピースをペアリングします(6ページの「初めてイヤークーピースをBluetoothデバイスとペアリングする」を参照)。

ペアリングのリセット方法。

両方のイヤークーピースを充電ケースに戻してください。

両方のイヤークーピースが白く点滅します。

両方のイヤークーピースの機能ボタンを4秒間押すと、イヤークーピースの白いLEDが2回点滅します。

Bluetoothデバイスでイヤークーピースを検知できません。

- イヤークーピースが以前にペアリングされたデバイスに接続されている可能性があります。その接続されているデバイスをオフにするか、範囲から離してください。
- ペアリングがリセットされているか、イヤークーピースが以前に別のデバイスとペアリングされている可能性があります。ユーザーマニュアルの説明に従って、イヤークーピースとBluetoothデバイスを再度ペアリングします。(6ページの「イヤークーピースを初めてBluetoothデバイスとペアリングする」を参照してください。)

Bluetoothイヤークーピースは、Bluetoothステレオ対応の携帯電話に接続されていますが、音楽は携帯電話のスピーカーでしか再生されません。

お使いの携帯電話のユーザーマニュアルをご参照ください。イヤークーピースを通じて音楽を聞くを選択してください。

音質が悪く、音飛びノイズが聞こえます。

- Bluetoothデバイスが範囲外にあります。イヤークーピースとBluetoothデバイス間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。
- イヤークーピースを充電してください。

携帯電話からのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合は、オーディオの品質が低下します。

お使いの携帯電話がHSP/HFP (モノラル) をサポートしているだけでなく、A2DPもサポートしており、BT4.0x (またはそれ以上) に対応していることを確認してください (10ページの「テクニカルデータ」を参照)。

Bluetoothデバイスで音楽が聞こえるが制御できない(再生/一時停止/早送り/巻き戻しなど)。Bluetoothの音源がAVRCP(10ページの「テクニカルデータ」を参照)に対応していることを確認してください。

イヤークピースの音量が非常に低いです。

一部のBluetoothデバイスでは、ボリューム同期によって音量レベルをイヤークピースにリンクできません。この場合、お使いのBluetoothデバイスで音量を調節して、適切な音量レベルを設定します。

イヤークピースを別のデバイスに接続できないのですが、どうすればいいですか？

- ・ 以前にペアリングされたデバイスのBluetooth機能がオフになっていることを確認してください。
- ・ もう一方のデバイスでも、ペアリング手順(6ページの「イヤークピースを初めてBluetoothデバイスとペアリングする」)を繰り返します。

片方のイヤークピースからのみ音声は再生されません。

- ・ 通話中の場合は、左右のイヤークピースから音が出るのが普通です。
- ・ 音楽を聴いているときに、1つのイヤークピースからしか音が聞こえない場合:
 - ・ もう一方のイヤークピースの電池が切れている可能性があります。パフォーマンスを最適化するには、両方のイヤークピースをフル充電してください。

- ・ 左右のイヤークピースが互いに切断されているので、両方のイヤークピースの電源を切ってください。両方のイヤークピースを充電ケースに5秒ほど戻して取り出します。これでイヤークピースがオンになり、2つのイヤークピースが接続されます。イヤークピースをBluetoothデバイスに接続し直します。

- ・ イヤークピースが複数のBluetoothデバイスに接続されています。全ての接続されているデバイスのBluetooth機能をオフにします。両方のイヤークピースをオフにします。両方のイヤークピースを5秒間充電ケースに戻して取り出します。イヤークピースをBluetoothデバイスに接続し直します。イヤークピースは、一度に1つのBluetoothデバイスだけに接続するように設計されています。イヤークピースをBluetoothデバイスに再接続するときは、以前にペアリングして接続した他のデバイスのBluetooth機能がオフになっていることを確認します。

- ・ 上記の対処法で問題が解決しない場合は、イヤークピースをファクトリーリセットします(9ページの「イヤークピースをファクトリーリセットする」を参照)。

さらにサポートが必要な場合、www.philips.com/support にアクセスしてください。



Philips、Philips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。本製品はMMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社によって製造され、MMD Hong Kong Holding Limitedの責任の下に販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品の保証者となります。

